

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農山村振興費

## 事業名 安心と共生のニホンザル対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農山村振興課 鳥獣害対策係 電話番号：058-272-1111(内4172)

E-mail : c11427@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,000千円 (前年度予算額) 6,000千円

## &lt;財源内訳&gt;

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,000	0	0	0	0	0	6,000	0	0
要求額	7,000	0	0	0	0	0	7,000	0	0
決定額									

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

- 令和6年度の県内におけるニホンザルによる農作物被害額は36,365千円となっており、イノシシ、ニホンジカに次いで3番目に被害が大きい(県全体の13%)。
- ニホンザルは群れで行動し、地域によっては農作物被害だけでなく林業や人的被害に及んでいる。
- ニホンザルによる農作物被害等を減少するためには、個々の農業者による対策だけでは限界があるため、住民等が協力して地域ぐるみで対策を実行することが有効であり、その活動に対し支援が必要である。
- 令和7年度に実施した「政策オリンピック(ニホンザル対策のモデル構築)」において効果が確認された優れた取組については、県内の他地域への横展開を図り、被害軽減対策の加速化を図る必要がある。

## (2) 事業内容

- ニホンザルによる農林業被害を減少させ、地域住民が安心して暮らせる農村集落づくりと野生鳥獣との共生を図るため、ニホンザルによる被害を受けている地域において、加害性の高いニホンザルの群れの行動域を把握するためモニタリング調査を行い、調査情報について地域の追い払い活動等の活用に資する。
- 令和7年度に実施した「政策オリンピック(ニホンザル対策のモデル構築)」において効果が確認された優れた取組については、県内の他地域への横展開を図る。

### (3) 県負担・補助率の考え方

・県内に生息するニホンザルの群れの行動域等を県がモニタリングし、情報活用を推進するものであり、また県の「政策オリンピック」を波及するためであり県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	53	委員報償費
旅費	148	業務旅費
消耗品費	713	事務用品代
役務費	86	郵便代、電話代
委託料	6,000	サル行動モニタリング、マニュアル作成
合計	7,000	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- 第二種特定鳥獣管理計画（ニホンザル） 2023(R5)年4月1日～2028(R10)年3月31日
- 鳥獣被害防止特措法に基づく市町村被害防止計画（県内35市町村が策定）

### (2) 国・他県の状況

29府県で第二種特定鳥獣管理計画（ニホンザル）策定（R6.5現在）  
各府県において、第二種特定鳥獣管理計画及び各市町村が策定する被害防止計画に基づき、ニホンザルを含む各種加害鳥獣に対する捕獲、防護、環境管理に係る取組みを実施。

### (3) 後年度の財政負担

ニホンザルによる農林業被害を減少させるため、持続的な対策の実施と継続した支援が必要。

### (4) 事業主体及びその妥当性

県内におけるニホンザルによる農林業被害を減少させるため、県が実施主体となるのは妥当である。

# 事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・県内に生息する加害性の高いサルの行動域等をモニタリングし、その調査情報について、地域の被害減少に向けた追い払い活動等へ活用。
- ・県の「政策オリンピック」において効果が確認された優れた取組を県内へ波及。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R )	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
サル行動域の把握と調査情報の対策への活用		0	3事例	3事例	(累計) 9事例	

### ○指標を設定することができない場合の理由

### (これまでの取組内容と成果)

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組内容と成果を記載してください。</li> </ul> <p>指標① 目標 : ____ 実績 : ____ 達成率 : ____ %</p>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組内容と成果を記載してください。</li> </ul> <p>指標① 目標 : ____ 実績 : ____ 達成率 : ____ %</p>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組内容と成果を記載してください。</li> </ul> <p>指標① 目標 : ____ 実績 : ____ 達成率 : ____ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	農林業や生活環境、自然生態系への影響を低減させるため、サル対策を進める必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	第二種特定鳥獣管理計画で設定した加害レベル4以上のサルの生息数を令和9年度末までに半減させる目標を達成するため、対策モデルの構築と地域への波及が必要である。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	外部への委託と事業主体等との連携により効率化が図られている。

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

サルによる農作物被害は依然として高い水準で発生しており、地域条件に合わせた支援が必要である。

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか  
サルによる農林業への被害は大きく、各市町村、農林業関係者並びに地域住民からの要望が多い。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	